

・実習が始まることに、子どもたちにやっと会えるわくわくした気持ちと、責任実習と記録、職員との関わりの場面で緊張や不安な気持ちがあります。しかし、このような状況の中でも実習をできることに感謝し、積極的に子どもたちと関わり様々なことを学んで、自信に繋がられるように精一杯頑張ります。

・実習に関する抱負は、積極的に子どもや保育者と関わり信頼関係を築くことです。そのためにも、まずは子どもがそれぞれどのような遊びをして楽しんでいるのか観察して、そこから会話に入っていくことを意識していきたいです。また保育者に子どもについて聞いたりして、子どもたちを支えられることを目標に頑張りたいです。

・この前の施設実習では、視野を広く持って物事をみることが自己課題として発見できました。それをこれから始まる実習では意識していこうと思っています。実習では、各年齢による保育者の関わり方や配慮の違いをみて学び、柔軟に対応できる力を身につけたいと思っています。

・オリエンテーションを本日行ってきたのですが、実習担当の先生が聖和の卒業生だということで、とても優しく接して頂きました。私はピアノが少し苦手なのですが、実習の時に弾く楽譜が配られたので完璧ではなくとも、子どもたちと一緒に楽しんで弾けるように実習までの期間できちんと練習したいです。頑張ります！！

・今オンライン授業で学んでいることは実習で活かしながら学びを深めていけると思っています。実習では一人ひとりの子どもと向き合いながら、子どもたちが安心してたくさん姿を見せてくれるように頑張ります。

・社会に出て、働くまであと少しとなった。保育実習・教育実習は延期され、予定よりも短い日数で行われるが、だからこそ一日一日気を引き締めて、自分から積極的に前向きに学んでいきたい。

・実習の準備では夏休みの間に、ピアノ練習をし、パネルシアターや子どもたちにしたい保育の物を作っていました。インターネットで調べたものだけではなく、1年生の春学期や秋学期にならった遊びを子どもたちに伝えられたらと思います。

・例年よりも実習日数は短くなっているけど、やることは変わらないと思うしネガティブになっても何も変わらないと思うから何事にも前向きに考えて、たくさんのことを学ぶことができる有意義な実習になるように頑張ります。

・私は自粛期間に入ってから、実習に向けて視聴覚教材を製作しています。実習の責任実習や部分実習を行う際に、自分のことで精一杯になってしまわないように、入念な準備を行い、子ども達の様子にもしっかりと目を向けられるようにしたいです。

・私は幼稚園の時、保育者の方が楽しそうにピアノを弾いている姿にあこがれを持ち、ピアノを習い始めました。先日オリエンテーションの際、歌唱指導や朝の会などで使う曲をもらいました。実習中にピアノを弾く機会があるので、私が出会った保育者のように楽しんで弾くことができるようにしたいと思います。

・私が実習に向けて準備したことは、春休みから資格教材を制作したことです。さまざまな対象年齢のペープサート・シアター・スケッチブックシアターなど種類の異なるものを制作し、何歳児クラスになっても対応できるようにしています。

・私は小さい頃は人見知りの激しい子どもでした。しかし、当時の担任の先生が遊びを通して他の子どもと関わる機会を作ってもらったり、足りない言葉を補ってもらったりしながら少しずつ克服して行きました。短い実習期間の中で、どれだけ保育者としての援助ができるかは分からないけれど、私も当時の担任の先生にしてもらったように、子ども達と丁寧に関わりができるように実習に向けてどんな遊びをするか考えながら準備したいです。また、困ったなと思うことがあれば実習の担当の先生に聞き、先生の援助を取り入れられるように周りを見ながら実習に取り組めるように頑張りたいです。施設実習では、担当の先生に設定保育を見ていただいた時、失敗もあるかも知れないけれど、保育者自身が楽しむのが1番という言葉がとても印象に残っています。何か仕事を任された時には楽しみながら取り組み、失敗をしてもそこから学んで、より良い保育を目指したいです。

・実習に向けて、ペープサートやエプロンシアターなど製作中です。先輩方の残してくれた実習の記録がとても助かります。実習では実習先の保育を取り入れられるように頑張りたいです。

・私は当時通っていた、優しく温かい目で見守ってくれる幼稚園の先生に憧れ、将来保育者になりたいと思いました。その先生のように、子どもたち一人ひとりに寄り添い、何事にも一生懸命頑張りたいと思います。

・実習に向けて、手遊びやピアノのレパートリーを増やしていく準備をしていきたいと思っています。実習では、私が幼い頃通っていた先生のように、子ども一人ひとりと丁寧に関わっていくことを大切にしていきたいです。

・実習先へオリエンテーションに伺わせて頂き、いよいよ実習が始まるという自覚が湧いてきました。

・本来の実習期間が学習の時間に変わったので、視覚教材の準備がより多くでき、実習で学びたいこと、頑張りたいことがより明確になったと思うので、私にとってこの期間は良い期間だったと思います。

・考えの変化は例えば、4月時点では子どもと積極的に関わりたいと思っていたが、今は積極的に関わるのはもちろんのこと、一つひとつの行動に責任を持ち、援助や関わり方に意味を持てるように努力したいと思うようになりました。

・今の私は子どもと関わることに精一杯なので、実習を通して意図的な関わりや援助ができるようになりたいと思います。

そのためにも自己目標を立て、保育者の方の行動をよく見てより良いものへと改善していきたいです。

・指導案は実習が始まってから1から始めるのではなく、今からある程度完成形まで作っておくべきだと思い、そろそろ取り掛かろうと思っています。そして実習を通して実際に子どもと触れ合いある程度完成させた指導案に足していきたいです。

・今まで観察実習や施設実習などを体験してきた子どもへの話しかけ方や絵本の読み方など、学んできたことを実習で実践していきたいと思っています。子ども一人ひとりを理解することを目標に、そのために積極的に子どもと深く関わっていききたいと思います。ピアノや視聴覚教材は緊張しますが、子どもが楽しめることを一番に考えて計画していきたいです。実習が始まったら、緊張しすぎずに温かい姿勢で子どもと関わることを心掛けようと思います。

・実習に向けての抱負は、とにかく自分に負けないことです。私は少し自分に甘くなりがちです。明日やろうなどを続けてしまいます。しかし、この前オリエンテーションへ行きこのままではいけないなと思いました。それから、オリエンテーションで頂いた楽譜でピアノの練習を毎日し、部分実習に向けての教材を考えています。準備に入るまでが長すぎたけれど、後悔しても遅いと思うので今自分にできる事をやっとうと思っています。不安ばかりだけど、不安なのは1人じゃないと思うと頑張れます。聖和で共に学んでいる友だちと鼓舞し合いながら実習の準備、実習に励みたいです。

・実習に向けて、現在就職先でアルバイトをさせていただいて、そこの保育の仕方、子どもとの関わり方などを観察し、自分自身関わり、体験し、質問し学んでいきたいと思っています、そして、その学びを今後の実習に活かしていきたいと思っています。

・秋学期は目標をもって計画的に勉強をしたいと思いました。特に実習が沢山あるので、実践しながら学んで、保育者の役割や仕事内容を理解したいです。今は実習に向けて手遊びや絵本を準備しピアノも練習しています。

・実習の準備は、事前に手遊びなどを自分のものにするために練習をすることと、絵本を何度も読んで内容を理解したうえで実習に挑めるようにしないとないと思いました。実習では子どもたちとの関わり、保育者の援助方法を学びながら楽しく過ごしたいと思います。

・これから始まる実習では、子どもたちといかに積極的に関わることが出来るかを目標に取り組んでいきたいと思います。実習では、座学では学ぶことの出来ない保育の今を知り、学ぶことが出来ます。実際に子どもたちとの関わりでは、あたたかい環境づくりを意識しながら一人ひとりに寄り添いながらゆったりとした関わりが出来たらと思います。また保育に参加するということは、子どもたちの生活の場に入っていくことなので、そのことを念頭に置きながら保育を進め、子どもたちの笑顔があふれるよう自身も楽しみながら実習に参加していきたいです。

・もうすぐ実習が始まり、とても緊張しています。ピアノを上手に弾けるか、部分実習をきちんと行えるか不安でいっぱいです。実習までの約二週間気を引き締めて取り組みたいです。オリエンテーションで、一日目からたくさん子どもと関わって遊んでほしいといわれたので、いろんな子ども達と関わりどのような子どもがいるのか把握して、一人ひとりの個性を見つけていきたいと思っています。また、保育者の援助をみて自分と何が違うのかを考えたり、自分に足りないところを見つけたりしたいです。十日間という短い間を精一杯頑張りたいです。

・実習の準備ではオリエンテーションで自分の担当クラスを知り、それを元に準備を進めています。いつもクラスで読む絵本を教えてもらい、自分が部分実習で使う絵本を選んでいきます。大きな声で早くならず丁寧なように読めるように頑張りたいです。

・実習ではたくさん子どもたちと関わり、様々な声かけを行っていきたいです。一人ひとりの成長発達に合わせた援助を行いたいです。直接保育者の姿を見ながら学んでいきたいです。園の方針を理解し、子どもたちと関わっていきたいです。責任実習は、失敗を恐れず様々なことに挑戦をしていきたいです。また、子どもが何に興味関心を持ち、どんな遊びが好きなのか、どんな歌が好きなのか、どんな製作が好きのかなど子どもたちと関わっていきながら知りたいと思います。一日一日の実習を濃いものにしていくために自分の中での目標を毎日立てながら実習に臨みたいと思います。授業でやってきたことを少しでもこの実習で活かしていけたら良いなと思います。緊張して視野が狭く

なってしまうかもしれないけれど、視野を広くすることを意識して関わっていきたくいです。子どもたちの名前を早く覚えて、できるだけ早く慣れていけるようにしたいです。

- ・保育といえば聖和！と言われて入学してから、1年が経ちました。たくさんの先生から親身に保育現場に出るために必要なことを学ばせて頂いているので、実習で生かしたいです。聖和に来て良かったと改めて思います。

- ・聖和短期大学は自然が豊かで温かく、一面の緑に癒されとても心が落ち着く、そんな場所です。また、子どもたちが満面の笑みで楽しそうにしている様子を見て、保育者になってその表情を引き出したいという思いが強まる最高の場所です。

- ・10月からの3か月間に教育実習、保育実習、児童館実習と怒涛の実習ラッシュが待っています。正直なところ私の気持ちは不安でいっぱいです。しかし、不安に思うたびに施設実習で園長先生が私にかけてくださった言葉を思い出します。「実習はまずは何よりも楽しむことが大事だよ」とこのように園長先生は私に教えてくださいました。そこで、私のもつどうしようとする気持や不安な気持ちは子どもに敏感に伝わると気付きました。だからこそ、子どもたちと過ごす毎日を、まずは楽しむということを忘れずに実習に取り組みたいです。

- ・実習では、同じ子どもと関わるばかりではなく、沢山の子どもと関わりたいです。子どものいろんな面を見て違いやそれぞれの良さなどを感じながら、たくさんのお話を吸収したいと思っています。そうすることできっと自分の将来のためにもなると考えます。

- ・実習のオリエンテーションが終わり、担当するクラスが0歳児クラスに決まりました。そのため、実習に向けての準備として0・1歳児の発達過程や食事等について勉強を見直したり、わらべうたを頑張っておぼえています。

- ・実習ではピアノや部分実習が行われるため、秋をテーマとした内容を考えておき、スムーズに展開できるように準備や練習をしっかりとっておきたいと思っています。また、実習中には子どもたちと積極的に関わり子どもの発達や援助方法などについて詳しく理解できるように頑張りたいと思っています。

- ・今まで実習などに参加させていただいたことを活かして学んだことを発揮出来る保育を行って行きたいと思いました。

- ・幼稚園の頃好きだった先生の姿を見て保育士になりたい夢を叶えるために実習を乗り越え、なった姿でその先生に会えるように頑張りたいです。

・責任実習で準備するものは、ゲームや製作など自分が幼児期に楽しかったものを取り入れていきたいと思っています。自分が楽しめるものでないと、子どもたちに楽しみ方を伝えることはできないと思います。

・オリエンテーションに行かせていただいた際に、実習では、絵本の読み聞かせやピアノを弾き一緒に歌うなどを、実際に子どもたちの前でしてみようかと言っていました。自分なりに子どもが楽しいと思える保育ができるように、準備して頑張りたいです。

・実習に向けて、手作りのスケッチブックシアターや季節の絵本を実習に入る年齢に合わせて選んで購入しました。実習に向けて、はやめに行動を行うことを授業で学んでいるので様々なことを想定しながら準備を行い、少しでも不安を取り除けるように自分から行動することが必要だと思いました。そして、子どもの姿は入った実習園によって違いますが想像しながら絵本の読み聞かせの練習をしたあとと思います。授業で学んだことを実習で行えるようにしたいと思います。

・実習では、子どもたちや保育者の方々とたくさんコミュニケーションをとり、積極的に行動していきたいと考えています。そして、子どもたちへの最善の保育が提供できるように多くのことを学び、実践していきたいと考えています。

・私は実習等に備えてシアター系の、実際に保育現場でも使えるような保育グッズを作りました。また、それらを作ると共に実習で実際に活用できるよう、早め早めから指導案を立てておき、実習園の先生からアドバイスを貰うことで、より良い保育を経験することができると思います。

・実習では、子どもに積極的にコミュニケーションを取り、自分にできることを自ら見つけ、動けるようにしたいです。私の長所は、明るく元気なところで体力にも自信があるため、この長所をいかして頑張りたいです。

・時間の空いた時に少しずつ道具を用意することで、内容が濃いものを準備できると思う。私は夏休みに少しずつ準備してきたものを、今回の実習で活用したい。準備しものは無駄ではなく、自分が作ったもので子どもたちの楽しんでいる顔を見たい、楽しんでほしいという思いを込めて、実習で頑張りたいです。

・実習で使用するピアノの楽譜を事前にいただいたため、ピアノばかりに集中せずに子どもの様子を見ながら弾けるよう頑張ります。実習に対して今は緊張と不安でいっぱいですが、自らが楽しんで保育を行うことを意識して子どもと関わりたいと思います。

・私にとって「恩返し」とは、健康に安全に生きることはもちろん自分の将来のために今できることを精一杯取り組むことだと思います。今でいうと、将来の夢である保育士になるための過程であるこれからの実習を自分なりに努力することです。実習を乗り越え夢を叶えられたことが親や大学の先生への「恩返し」だと思います。今まで自分のために一緒になって悩んだり、考えてくれた人たちがいたから、夢に近づくことができると思うし、夢を叶えられたらそれは最上級の「恩返し」・親孝行になると思います。「恩返し」は人それぞれの考え方がありとおもうけれど、自分がこうしたら「恩返し」になると思いながら努力したことはどんなことでも「恩返し」になると思います。

・私が幼稚園に通っていたとき、担任をしてくれた先生のようになりたいと思い保育者を目指しました。実習ではその先生のように子どもに愛を持って接し子どもと一緒に1日1日を全力で楽しみ、一つ一つの出来事を一生懸命取り組めるよう今まで習ってきた知識を整理したりし実習の準備を前もってしっかりしようと思います。

・実習は少し不安があったのですが、オリエンテーションに行ってみて前向きに頑張ろうと思いました。責任実習で製作をする予定ですが、それを聞いた時できるかどうか不安な気持ちになりました。しかし、それと同時に楽しみな気持ちと挑戦したい気持ちが出てきました。子どもの気持ちになって、考えてみようと思いました。また、絵本をたくさんみて絵本からいかせることはないかと考えたりし、事前の準備から楽しんでいきたいと思いました。

・毎日元気に笑顔で実習に取り組み、初めての責任実習なのでイメージを膨らませ、その練習に励みたい。来年の春からは保育者として子どもと関わるということ意識しながら保育者の役割を深く学びたい。

・指導案は、実習始まってから書くのではなく、オリエンテーションで伝えられるとすぐに考えるべきだと思った。前々から書くことにより、練習できたりアドバイスももらったりしながら考えることができる。実習に向けての準備は大切だと思った。

・1年生の時の実習を振り返って、気づいたことがあります。それは子どもの姿を想像しながら指導案を立てることです。「2歳児だったらこれは難しいかな」って考え、どうしたらもっと子どもたちは楽しんでやってくれるのかななどを計画することはとても重要なことだと気づきました。

・私は実習に向けて子どもの前に立って堂々と話すこと、私の考えた指導案が子供の心に響き、楽しんでもらえるようにすることを頑張りたいです。

・幼稚園に通っていた頃、自分の「アイドルになりたい」という夢を保育者に話しました。その保育者は、否定せず、なぜそう思ったか聞いてくれて、優しく「お歌や踊りを頑張って練習してみようか」と伝えてくれました。実習では、子どもの話を肯定的に受け止められるように努めたいです。

・実習が秋学期になり、そのメリットとしては園になれた子どもたちと関わることができ、季節の行事（例えば芋掘りや焼き芋大会、ハロウィンなど）に参加出来るということ、就職する前にもう一度保育所、幼稚園とはどういう所なのかを学ぶことができるということかなと私は思います。4月6月に実習が終わっていたら、就職した4月からどんな風に子どもたちと関わればいいのかなどが分からなくなっているかもしれない、とも思いました。

・私が教育実習で行く園は母校で、認定こども園になったところです。自分が通っていたときの気持ちなどを思い出しながら、保育室や園庭で子どもたちと遊びたいと考えています。もちろん遊ぶだけではなく、危険なことをしているときは注意するなどメリハリをつけて実習に挑みたいです。そして、私は今のところ教育実習で行く園に就職しようと思っているので、園の雰囲気や子どもたちの様子を見ながら考えたいです。

・もうすぐ実習が始まります。手遊びのレパートリーを増やしたり、絵本の準備をするなど、準備できることはたくさん準備して頑張りたいと思います。実習では、子どもの目線に立って、子どもの気持ちを考えながら関わりたいと思います。また、子どもの良いところをたくさん見つけられるようにしたいです。

・実習まであと2週間ほどになりました。部分実習が多く、指導案もたくさんかかなければならないので今から少しずつ指導案をたてています。子どもたちが楽しめるような遊びをしていきたいです。子どもの行動は読めず、指導案通りにはいかないと思いますが、臨機応変に対応して充実した10日間の実習にしたいと思います。

・実習では全日実習もあるので、年齢に応じた遊びや援助を行えるよう子どもの日々の様子、保育者の関わり・援助などを細かく観察して、学びの多い実習にしたいです。

・実習に向けて、体調管理をしっかりするため、早寝早起きを今のうちから習慣付けたいです。

・保育者の援助を間近で見ることによって、学校では学べない実践的な保育について学びたいです。

・実習では積極的に子供達と関わることで、子どもの興味や関心、今何を見ているのかについて考え、しっかり寄り添っていきたいと思います。

・わらべうたや歌を通して子どもたちと一緒に歌うことの楽しさを伝えられるような保育を行いたいです。

・私は名前を覚えるのが苦手なのですが、名前を呼ぶことによって子供との距離はぐっと近くなると考えるので、出来るだけ早く名前を覚えれるよう、一定の子どものみ関わるのではなく、たくさんの子供たちに積極的に話しかけていきたいと思います。

・保育者の保護者に対する言葉掛けを見て、保護者支援について学びたいです。

・保育者の援助の仕方を多く学ぶだけでなく、援助の仕方を見る中で、子どもへの願いや子どもの反応などを知り子どもの気持ちに寄り添える保育者を目指したいです。

・子ども同士の関わりを観察することで、実際の子どもたちの姿・発達を知り、それらに合わせた援助を実践したいです。

・一保育者として、実際に保育の現場に入ったからこそ学べる子どもとの関わり方、寄り添い方、そして保護者との関わり方をしっかりと習得したい。そして何より子どもの立場で物事を考えることを大切に、実習を行いたい。

・予定よりもだいぶ遅れてしまった実習なので緊張もありますが、楽しみのほうが大きいです。

・今までに大学で学んできた手遊びや製作はもちろんですが、新たにオリジナルのものが作れたらいいなと思っています。

・実習では、高校生のボランティアの頃からさせていただいていた絵本の読み聞かせをより一層磨きたいと思います。子どもたちが集中してきけるような抑揚のつけ方や、感情の入れ方を考えたいです。そのためには、絵本を多く読み、読む前には内容を思い出して工夫した読み方ができるように練習しておきたいです。

・本格的な実習は初めてで色んなことに不安がありますが、実習前にやっておくこと、やっておきたいことなどは、持ち歌は手遊び、ピアノ、わらべうたのレパートリーを増やしておくことにして、1日に1個、2日に1個の頻度で覚えていきたいと思います。ピアノは、難しいものを選ぶのではなく、乳児でも覚えやすい分かりやすい歌にしようと思います。絵本については、実習先のオリエンテーションでクラス決めをしたので、その日に絵本を買いました。私は指導案を書くのがとても苦手なので、朝の時間の数分間という設定で指導案を書いたりしました。子どもは、大人の予想外のことを言うことがあり、その子どもの言葉にどう返せばいいのか、正しい返答の方法はどうすればいいのかをしっかりと考えたいと思います。実習では、早寝早起きを心がけたいと思い

ます。いつも寝るのが遅いので起きる時間も遅くなりがちです。実習前から早く寝ることを習慣づけて行きたいと思います。早く寝るということは、毎日提出の指導案、レポートなどを集中して計画的におらすことが大切です。いつも勉強などをする時、音楽をかけたり、携帯を見たり、テレビを見たりしているのでそれは絶対にしないことで集中力が上がるということがわかりました。字を書き進めると最後らへんには最初に書いていた字と比べるととても汚くなって読めなくなっていたりするので、実習先の方に読んでもらうので誰が見ても分かりやすい丁寧な時を心がけたいと思います。実習の中では部分実習などをさせてもらい、保育を進めていきたいと思っています。今までは嫌なことにはすぐ逃げたりしていましたが、いまは嫌なことを進んでやるのが大事だと思いました。その中で取り組んでいることは、自分の部屋でぬいぐるみを目の前に並べて話したり、書いた実習案を参考に保育を試してみたり、絵本を読んできたりしました。当たり前ですが、何も返事は帰ってこないですが、一人二役を試してみたり一人三役を試してみたりしました。

・私は今までの実習の中で、緊張して消極的になってしまうこと課題になっていた。そのため、これから始まる実習では積極的に行動して、子ども達や保育者との関わりの中で学んだことや自分に足りない技術などを身に付けていきたい。

・実習では一人ひとりの人権を尊重する必要があると感じているので、中学二年生の時にトライやるウィークで出会った保育者のように、一人ひとりのことをしっかりと見て援助が出来るようにしようと考えています。

・私は保育の現場ですることが正直とても苦手です。ピアノも中途半端ですし、手遊びなど前に立って何かをすることが苦手なので、全日実習などの機会もいただいているので、しっかりと準備や練習に励み、実習を通して少しでも自信をもって自分の強みにできるように頑張りたいです。

・これから始まる実習に向けて、早くから絵本選びや指導案作成など、様々な準備をしていこうと思います。また、実習では子どもたちと多くのコミュニケーションを取れるように積極的に話しかけたいと思います。

・実習はとても緊張しています。しかし、今までの実習で自分の準備したものを発表できる機会があり、それが自信となっています。一生懸命やればその気持ちは子どもや保育者にも伝わると思います。ピアノは苦手ですが、マイナスのことに目を向けるのではなく、歌うことが好きなこと絵本を読むのが得意なことを思いだしながら、精一杯頑張ります。実習が終わる頃には、大きく成長できた姿を先生に見せられたらいいなと思います。

・私は実習に向けて色々な年代の子どもに使える手作り教材を作るべきだと思います。絵本や手遊びもいいと思いますが、やはり自分が1番したいことに向けての準備が必要だと感じました。実習は不安ですが悔いのないよう頑張ります。・昨日、実習先のオリエンテーションに行きました。教育実習についての説明を伺い、不安な気持ちが少し和らぎました。実習生がすることについても説明があり、当日までにやらなければならない、ピアノの練習、手遊び、指導案を書く練習などを続けていきたいです。コロナウイルスの中で、実習をさせていただけることに感謝をして、精一杯努力し続けたいです。一人ではなく、友達みんなと一緒に頑張っていると思い、最後まで走り続けたいと思います。

・私は実習に向けて、準備をしっかりしたいと思っています。授業内で作った教材だけではなく、他にも季節に合ったものや工夫のあるものを用意しようと思います。また、手遊びなどのレパートリーを増やそうと思います。

・実習に向けて準備していることは、ピアノの練習と手遊び、絵本の読み聞かせの練習です。ピアノの練習では、教育実習でリズム表現活動を責任実習で行うことが決定しているのです。どのリズム表現活動も対応できるように日々練習を積み重ねています。ピアノに集中するのではなく、子ども一人ひとりに目を配りながら演奏できるように日々練習を頑張りたいです。手遊びでは、子どもの年齢や発達段階にあった手遊びを複数考えています。設定保育や責任実習で活用できるように、子どもたちの前でしっかりと披露できるように模擬保育を自宅で行い、実習に備えたいです。絵本の読み聞かせでは、子どもの年齢や発達段階にあった絵本を絵本の部屋を活用し、実習に備えて絵本を選んでいきます。また、子どもたちに絵本を読む練習や、絵本を読むときの注意点などを意識しながら、日々絵本の読み聞かせの練習に励んでいます。

・指導案等も積極的に作成し、子どもとどのような遊びをしたいか、どのような援助をすることが大切かを考え、指導案を考えたいです。

・コロナウイルスの影響で実習が秋学期になり、また日数も減ったがなんとか実習を行えるようになり本当に良かった。実習が終わるまでに、安全・安心な環境の下で子どもたちがどのような活動を行っているのか、保育者の援助などを具体的に学びたい。

・指導案の具体的なイメージや、視聴覚教材などの準備を万全に行い、実習に挑みたいと思います。座学では学ぶことのできない実際の現場での経験を出来る限り、有意義なものにし、就職や、自分の保育者像に活かしていきたいです。

・実習に向けてピアノの練習や手遊びのレパートリーを増やせるよう頑張っています。

・マスクをしていても子ども達に笑顔が伝わるようにとびっきりの笑顔で子ども達と関わりたいです。たくさん子ども達に出会えることが楽しみです。

・実習に向けて、私はピアノの練習を頑張ろうと思います。自粛中なかなかピアノに向かう時間を作れていなかったため、オリエンテーションで楽譜をたくさん渡された時はドキッとしましたが、今からでも毎日ピアノに向かう時間を作り、実習で自信を持って楽しく弾けるよう課題曲の練習に励みたいと思います。

・私の抱負は、実習を通して自信を持って現場に立てるようにするため、より多くの経験を積むことです。緊張と不安はありますが短い実習期間を充実したものになりたいと思います。

・実習では元気な保育者を意識し取り組む。私の幼稚園の担任はいつも笑顔で元気いっぱいだった。一緒に遊び、できたときは沢山褒めてくれ保育者の明るさに私も楽しくなることが多かった。私もそんな保育者になりたい。

・実習の準備はできるだけ早めに計画して行うべきだと思います。私はピアノを練習したり、絵本や素話を選んだりしています。実習時期が遅れ例年とは違うことになっていきますが、将来の夢を叶えるためにたくさんのこと学び、夢に向かって進んでいきたいと思っています。同じ夢に歩む周りの友達と共に実習も乗り越えていきたいです。

・私の秋学期の抱負は、実習に本気で取り組むことです。責任実習が1週目から入ってきたりするなど、不安なことも沢山あるからです。だからこそ、早め早めの準備を心がけ、万全な状態で実習に取り組めるようにしたいと考えています。

・私は実習で責任実習を頑張りたいと思います。記録することばかりに気を取られることや、ピアノの苦手意識を持ちすぎないようにしなくてはなりません。この準備期間で苦手に思わないくらいピアノを練習したり、これまでの授業から指導案や記録の書き方をイメージして挑みたいと思います。

・保育園から内定をいただき、来年から保育士として現場に出るという実感がわいてきました。ですが不安な気持ちが大いいため、これからの実習を通して、保育者の方から多くのことを学び、自分に自信を持てるように頑張りたいと思います。

・私は実習で、今まで準備してきたことを全力で活用したいと思います。長い期間かけて作った製作や、自分で手に取って心惹かれ子どもたちにも見せたい絵本を本屋さんで購入したり、図書館で借りたりしてきたので、実習で使いたいです。

・この間教育実習先のオリエンテーションがあり、そこで楽譜を渡されたました。私はあまりピアノが得意ではありません。なので、人より上達が遅い分を取り返す気持ちとやる気で練習に取り掛かりました。自分は努力することは嫌いじゃないので一生懸命に頑張ります。

・このマスクを着用していると表情が分かりにくいです。そのため実習で私は、マスクをしていて見えている所だけでも分かる表情を心掛け、聞こえにくくないように、しっかりはっきりとした声を出して、気持ちが通じ合うような保育を行いたいと思います。

・昨日、教育実習のオリエンテーションに行きました。その実習園は聖和の卒業生の方が多く、なんだかホッとしました。実習担当の方から、沢山良い学びをしてほしいという言葉頂き、実習に向けての気合が入りました。

・実習に向けて、ピアノの練習、指導案の内容について考えています。とても緊張しますが、自信をもって取り組めるよう準備し、笑顔で楽しくできたらいいなと思います。将来にいかせるよう取り組み学びたいです。

・私はこれからの本実習で周りに目を配るということを大事にしながら取り組みたいと思っています。理由は夏休み中の聖和乳幼児保育センターでの体験実習での事です。私は目の前の子どもに夢中で、保育室で行われている子どもたちの活動の様子に目を向けていませんでした。物の取り合いや喧嘩が始まって、初めてトラブルが起きたことに気づいたのです。保育者さんたちを見ると、子どもと遊びながら周りを見渡し、トラブルに発展しそうならば即座に仲介に入っていました。それまでどれだけ周りが見えていなかったのかということに気づき、これからの実習、または就職に向けて周りに目を配るということを徹底して取り組もうと思いました。いくつものことを同時にこなすことが難しい私には、それらも難関ではありますが常に意識して行動することで改善されると思うので、今後日々精進したいと思います。

また、私にとっては初めての本格的な保育所実習です。保育所の特性や、一日の流れというものを実体験として学んだ経験は少ない方です。なので、2週間という短い間はありますが、保育所保育の機能や特徴などを学ぶことにワクワクしています。それと同時に責任実習など、私たちの考えた保育を提供する場があります。緊張や不安でいっぱいですが、これまでの授業で得た知識や周りの人の意見などを取り入れながら失敗を恐れずに取り組んでいきたいです。

・先日、実習のオリエンテーションで幼稚園に伺った際によく「もうすぐ実習だ」という実感が沸きました。実習までに手遊びや弾けるピアノの曲のレパートリーを増や

すなどの準備を徹底したいと思っています。例年より短くなってしまった実習期間ですが、学びの多い、充実したものとなるように積極的に学ぶ姿勢を大切にしたいです。

・実習は、実際に園での日々が始まってからではなく、その前の準備の段階からスタートしているということを実感しました。指導案や記録、責任実習のことなどで頭がいっぱいになり、必死になってしまいそうですが、子どもの成長や発達など、常に子どもを中心に考えることを忘れないようにしたいです。

・今回の実習では、自分が実際に保育者になったときのことを想像して実習に取り組みたいと考えています。ピアノを弾く機会があれば、できるだけ楽譜を見ずに子どもの様子を見ながら弾くことを目指します。

・実習は、担当する年齢によって保育の内容が変わってきます。自分の担当する年齢は実習の直前にならなければ分かりません。なので、様々な年齢の手遊びやわらべ歌は、実習が始まる前から少しずつ覚えていき自分のレパートリーとして持っておいた方が、安心して実習に取り組むことができると思いました。授業でも手遊びやわらべ歌について学ぶ場面があったので、そこからすでに実習が始まっているのだと自覚していかなければならなかったのだと思います。

・実習で実際に、自分が保育者となり保育を行うことはとても緊張しますが、現場を知ることとして沢山の学びとしたいです。座学と実践を交えた知識が活かせるように実習では様々な事を学び、体験して自分の力となるようにしていきます。

・実習に挑むにあたって色々準備することはありますが、まず一番大切なのは自分の気持ちを切り替えることだと思います。実習生や学生としての気持ちでいくのではなく一保育者として実習に参加する気持ちを持つことで、自分の行動に責任を持つことができ見え方が変わってきたりするので、学生としての実習にしないことが大切なのではないかと思っています。

・来年4月から幼稚園の先生として働くため、保育実習、教育実習を通して現場をしっかり体験しこれからの自分の糧にしていきたいです。

・今回が初めての長期に渡る実習で、今までの観察実習では得られない沢山の学びがあると思う。長期間同じ子どもたちと関われるからこそ見えてくる子ども一人一人の個性や特徴をしっかりと理解し、その上で子どもたちそれぞれに合った遊びや関わり方を考えて実践していきたい。責任実習もあるため、子どもの年齢や発達に合わせ、またクラスの雰囲気を読み取りながら、設定保育の内容を考えたい。保育者の方々ともコミュニケーションを取り、子どもたちにとってより良い遊びや活動を提供できるようにしっか

り準備して行いたい。また、春から保育者として現場に出る前に、園生活での具体的な場面における保育者の対応や援助を学びたい。子ども同士のトラブルへの対応や、散歩や遠足など外出時の注意点、食事中の保育者の役割など、一つ一つの場面ごとに保育者がどんな意図をもって動いているのか、細かいところまでしっかりと観察して学びたい。

- ・何よりも子どもとの信頼関係が大切だと思うので、できるだけ早く子どもたちと打ち解けられるように、まずは自分が心を開いて寄り添い、得意なことを活かしながら子どもたちとの距離を詰めていけたらいいなと思う。

- ・ピアノを弾くことが好きなので、そのピアノを活かして子どもたちと歌を歌ったり、リズム表現活動を通したりして楽しみたいです。少し不安と緊張もありますが、持ち前の明るさと笑顔で実習を乗り越えていきたいです。

- ・今度の保育実習では指導案の提出がほぼ毎日あるため、今のうちからどんな遊びや絵本を読むかを決めてスムーズに指導案がかける準備をしています。保育実習では0歳児担当ということもあり、何ができるのかできないのかある程度しか分からずよく考えなければいけないので少し苦戦しています。また全日実習などの責任実習もたくさんあるので不安なこともたくさんあるけれど、これまで授業で学んだことを取り入れ活かしていきたいです。悔いのない実習ができるよう精一杯頑張ります。

- ・実習に対して私は期待の気持ちでいっぱいです。何も分からない状態で現場に入り、自分で何が出来て何が出来ずに課題となるのかを、理解するととても大きな場だと考えます。毎日の記録や部分実習などの責任実習における指導案の作成を毎日行うことで、家に帰っても大変な作業が多く疲れてしまうこともあると覚悟していますが、それ以上に大きな学びを得ることが出来ると期待しています。実習まで少しではありますが、準備期間がまだ残っているので、実習開始までに自分の行いたい保育を考え、しっかりと準備して取り組みたいと思います。日常には保育に取り入れられるものがたくさんあると学んだので、常に子どもたちとの関わりを考え、どんな保育をしたいかを念頭に置きながら生活していきたいと思います。この意識が実習にも生きていくと思うので、実習でどれほど活用出来たかを踏まえ、これからの保育への学びにつなげていきたいと思います。また、保育の現場に行くことは一保育者として責任を持つべき行動であるため、「わからないから」と疑問をそのままに進めるのではなく、その場に相応しい行動を取れるよう積極的に職員の方とコミュニケーションを取っていきたいと思います。自分の学びのためなので、自分で行動を起こさないと意味が無いと考えます。そして、自分の意識こそがこの実習の成功へとつながるのだと考えます。そのため、自分の行動次第でこの実習の意義が大きく変わってくると思うので、これを意識した充実した実習にした

いと強く思います。アドバイスはしっかりと聞き、それを自分の力に吸収出来るよう取り組んでいきたいです。

・実習では子どもたちと積極的にかかわり、様々な経験をしたいと思います。不安な気持ちでいっぱいではありますが、子どもたちの前では明るく笑顔で堂々とした態度で接することができるようしっかりと準備をしてのぞみたいです。

・実習の準備として、絵本や、手作り教材、手遊びなどの実践的なことをたくさん用意しておくと思います。就職活動でも使えますし、あらかじめ用意しておくことで、落ち着いて実習に取り組めると思います。

・実習では来春から胸を張って保育者として働けるように、この実習で様々な子どもに出会い、たくさん子どもたちに積極的に関わり、自分の保育観をより具体的なものになるようにしたいと思います。

・もう直ぐ実習が始まるということで、今は絵本の練習や手遊びを沢山覚えることに力を入れています。実習はすごく不安でいっぱいですが4月から保育士で働く時のためにしっかりと勉強したいと思います。

・私は施設実習で児童発達支援センターと放課後等デイサービスに行きました。実習に行く前は、障がい児と関わった経験が無くどのように子どもと関わったらいいのだろうと不安がありました。しかし実際に実習に入らせていただくと、すぐに子ども達から声を掛けてくれたり手を引いてくれたりして不安に思っていた気持ちが無くなっていきました。実習中盤になって、私の実習目標であった積極的に行動するという課題があまり達成できていないと自分でも感じていたし、積極的に行動しているつもりでも相手に伝わっていなければ積極的に動けていない証拠であるという考えに至りました。そして、その日からさらに積極的に行動することを意識して実習に励みました。例えば、実習中に初めて会った子どもがいれば職員の方の援助を他の子どもと関わりながら見るだけではなく、自分から職員の方に声を掛けてその子どもの特性や持っている障がいを考慮した生活面での配慮や食事援助の仕方を聞き、自分でもできる事はさせて頂いたことです。この経験から、自分から積極的にいかなければ分からなかったことや、その子どもの関わりが生まれたため、改めて積極的に行動することの大切さを実感しました。このことから、次からの実習では初日からこのようにもっと積極的に学んでいく事を私の抱負にしていこうと思っています。また、児童発達支援センターで手遊びの導入から絵本の読み聞かせを2回させて頂いた。1回目は「はじまるよ」の手遊びをしてから「だるまさんが」を読みました。一緒に「だるまさんが」と言ったりして楽しんでいる様子が伺えました。しかし2回目では「さかながはねて」と「きんぎょがにげた」をすると、1回目の時のように見よう見まねで手遊びをしたりする子どもが少なかったように感じ

られました。このことから、子どもの発達過程や今興味のあるものに沿った手遊びや絵本を選ぶことがどれだけ大切かが分かりました。そのため、次の実習からは部分実習をされると言われた直前に絵本を選ぶのではなく、告知される前から心づもりをして子ども達と関わっていく中で興味・関心のあるものを探してみたり、2歳児であるからといって2歳児向けの絵本だけでなく1歳児・3歳児向けなど本当に目の前の子どもの発達過程に合ったものを選んでいこうと思います。

- ・実習の準備は、友人とも意見を交換し何歳児ならどのような絵本を選ぶのが良いか、また手作り教材を見せ合ったり、指導案を聞いてもらったりと内容を同じにする等ではなく、アドバイスを出し合いお互いを高めあっていくことが大切だと思います。

- ・私は、実習の一週間くらい前から、部分実習や半日実習の内容を決め、ある程度指導案を書いておくなどできる限りの準備をしようと思っています。実習は体調管理もとても大切なので、実習に入ってから慌てて準備するのではなく、絵本やゲームの内容などをあらかじめ決め余裕をもって準備をし、実習期間中はしっかり休息を取りながら良い援助や保育を行いつつ、様々なことを学びたいです。幼稚園の頃、延長保育の担当で、とても優しく、「それすごいね、うまくできたね」とよく褒めてくれる大好きな先生がいました。私もいつも優しく子どもの思いを受け止め、喜ぶときは一緒に喜び、子どもと一緒に悩めるように頑張りたいです。また、子どもの目線に合わせて話す、喧嘩などはこれまでの状況を理解してから子どもの気持ちを受け止める、事故がないように周りをしっかり見ていつでも立って動ける体制になっておくなど当り前のことをちゃんとできるように心がけたいです。また、しっかりと声を出すこと、自分の後ろにも気を配ること、前に立って話すときも堂々とするのをしっかりとしたいです。私は児童福祉施設に就職することが決まっていますが、今回の実習は幼稚園・保育所だけでなく施設で働くための基礎にもなるので今までの授業を思い返ししながら実際の保育の場で保育者や子どもから多くのことを学び身につけ、社会に出てから活かしたいです。

- ・実習では、聖和で学んだキリスト教保育を頭に入れ、行って来ました。子どもが愛を感じることで、自発的に行動できることが大切だと学びました。それを頭に入れて、自分の保育士像を明確に持ち、次の実習に挑んでいこうと思います。

- ・今回の実習が最後になり、次からは学生ではなく保育士として子どもと接することになります。先生方の動きなどをしっかりと見て学び、今後活かしていきたいと思えます。今回の実習では積極的に子どもと関わっていくことを目標に頑張ります。

- ・実習での目標は、保育者の言葉かけや動きを観察し、援助にはどのような意図があるのか考えたいです。部分実習や半日実習で何をしたいか準備をしておき、子どもたちと

一緒に楽しめる保育がしたいです。今はどのような保育者になりたいか具体的に決まっていなくて、実習の中で保育者像を固めたいです。

- ・子どもたちの思いや気持ちに寄り添い、自分の行動に責任を持って一生懸命取り組んでいきたいです。部分実習があるので授業で学んだことを活かして指導案を書き、子どもたちが笑顔になれるように頑張りたいです。

- ・実習に向けて、年齢に合った手遊びや絵本を事前に調べました。まだ、自分が担当する年齢が分からないので満遍なく調べました。実習が始まってから焦らないようにしたいと思ったからです。貴重な10日間、楽しく過ごしたいです。

- ・実習に向けて、様々な視聴覚教材を準備しています。手遊びや物語の手袋シアターや、シルエットクイズなどのペープサートを作っています。最近はスケッチブックシアターにはまっています。歌の導入にも使え、動物クイズなどのちょっとした時間に使えるためいいなと思いました。年齢や季節、昼食や午睡前などいろいろな場面を想像し、考えながら作っています。作っているとだんだん楽しくなり、次は何をつくろう、子どもたちはどんな反応をしてくれるかなとわくわくします。たくさん練習をして、実習に備えたいと思います。子どもたちの前でできる日がとても楽しみです。

- ・実習が始まるまで残り二週間ほどなので、実習に行く期間にちなんだ曲や絵本をじっくりと考えて準備したいです。実習生であっても責任感をもって、子どもと関わる保育者の仕事をよく理解したいと思います。また基本的な挨拶を笑顔で行うことを心がけています。

- ・実習に向けて今頑張っていることはピアノです。先に幼稚園実習に行くのですが、オリエンテーションで20枚の楽譜を頂いて帰ってきました。普段から弾いたり聞き慣れていなかったりする歌などもあり、曲の練習では苦戦しています。しかし、保育の中で自分の得意を活かせるのはピアノなので毎日最低でも1時間は練習するよう努力しています。

- ・実習では4歳児の年中クラスを担当することになりました。私は普段保育園のアルバイトに行っていますが、あまり4歳児と関わる機会がなく、4歳児はどんなことができ、どんなことができないのかがわからないので、10日間ある実習の中で5回も部分実習を経験することがとても心配です。また、実習前に部分実習や全日実習で行いたい保育についての指導案を考えなければならず、今インターネットで検索や色々な本を見るなどして、自分が行ってみたい保育について考えています。

・私は製作が苦手自分で考えることも正直苦手です。しかし、せっかく 5 日も実習生のために時間をくださるので、自分の実力を試す場でもあるので、製作の設定保育を 2 回ほど行いたいと思っています。まだ、作り方など調べていないのでできるかわかりませんが今はなんとなく万華鏡を子どもと一緒に作ってみたいと考えています。

・今までは実習までに時間があると心に謎の余裕がありましたが、いざ 3 週間後に実習が始まると自分の準備具合に不安を感じます。だから、自分の保育の引き出しを沢山持っておく必要があることを今改めて実感しています。そのような気持ちもあり、最近では保育で使える教材作りの YouTube を見ることはまっています。反対に多すぎてどれを作るか今度は迷っている所です。

・実習では、子ども 1 人ひとりと丁寧に向き合う保育をしたいと考えています。子どもの心に寄り添った保育というのは、自分にはまだ早いし簡単ではないと思っています。だから、実習ではまず毎日クラス全員の子とも自分から積極的に関わりに行き、その子に合った援助ができるように心がけようと思います。子ども達にはより丁寧にに関わり、どんな援助を行なっているかに注目し実習に取り組みたいと考えています。

・毎日実習記録を 2 時間で終わらせ、十分な睡眠をとり実習に毎日臨むことを目標に 10 日間頑張りたいと思います。

・実習がだんだんと迫ってきてオリエンテーションも済ませてあとは準備あるのみ！だと思っていますが、とてもとても緊張しています。夏休み中は、友だちと Zoom を繋げて一緒に手作り教材を作成しました。実習まで指導案を考えるなど、まだまだ準備することはたくさんありますが、様々なことを経験できる実習にしたいと思います。

・私が幼稚園に通っていたとき、担任の先生は優しく、厳しいことは言わず、たくさん褒めたり、たくさん楽しい遊びや活動をすることを通して個性を大切に伸ばしてくれていたように思います。実習では、そんな先生のように指導や教育にとらわれず、自分も楽しみながら子どもと一緒にたくさんの学びが得られるように取り組みたいと思います。

・実習の準備について、私は友達と Zoom を通して近況報告をしながら指人形やエプロンシアターなどを作りました。友達と話しながら教材を作るとあっという間に完成するためおすすめです。たくさんの教材を作って準備を万端にし、自信を持って実習に挑めるようにしたいです。

・私は今、実習に向けてペープサートを作っています。どのような工夫をしたら子どもが喜ぶかを考えながらつくるのがとても楽しいです。また、どんどん完成していくのを見ると達成感を感じます。

・初めての实習なので不安でいっぱいですが、自分の将来に繋げられるように頑張りたいです。

・秋から始まる保育実習や教育実習では、たくさんの子ともと積極的に関わり、それぞれの個性を受け入れながら接せれるよう心掛けて取り組みたいです。また、子どもの名前を早く覚えて親しくなれるよう頑張りたいです。

・聖和の良いところは、自然が豊かで保育を実践しやすい施設があり、充実した大学生生活を送ることが出来ることです。また、分からないことがあれば先生にすぐに相談することができ、手厚く保育について学ぶことが出来ることも良いところです。

・私は、人の話を聞くことが好きで周りの人への気遣いも積極的に行っているのので、この強みを活かして実習に励みたいです。そして、絵本を読むことも好きなので、夢中になってくれるような読み方をしていきたいです。

・実習のオリエンテーションに先日行きました。12日間で予定が詰まっておりますが、このよう状況の中でも迎えてくださる園に感謝をし、子どもたちと関わるからこそ知れる事をたくさん吸収し成長して大学に戻って来たいと思います。

・実習を行う上での私の抱負は、子どものことを見る以上に保育者を見て、トラブルが起きた際の言葉がけや保育者同士の連携、保護者との接し方や対応の方法を見聞きして学ぶことで、来春から保育者として実践していくことである。

・私はいつも温かく迎え入れてくれる幼稚園の先生のがとても好きで、その先生に憧れて保育者を目指したので、実習では憧れの先生のように子どもたちを温かく迎え入れ、安心して過ごすことのできる環境作りをしたいと思います。

・責任実習など初めてのことがたくさんあり、不安でいっぱいですが、先生方から様々なことを学ぶことができるように一生懸命頑張りたいと思います。

・私は施設実習であまり自ら動くことができず、少し悔いが残ってしまいました。実習前に計画的に行動する意識を高めておくことがとても大切だと感じたため、保育実習・教育実習では自ら動くことのできるよう計画性を大切にしたいです。悔いのないよう頑張ります。

・コロナで実習が予定通り行かず、期間も短くなってしまいましたが、限られた時間しかないので、この時間を有効に活用できるよう積極的に取り組みたい。施設実習では緊張があまり抜けず、全力でできなかった部分もあった。その反省も生かして保育者として基本のことだが、緊張に負けないよう「明るさ・笑顔」を意識して実習に取り組みたい。

・私は大好きな音楽に関心を持っています。今までやってきた歌などを通して子どもたちと関わりたいと考えています。そして、教育実習で歌唱指導を行うことになったのでピアノは苦手ですが、今から練習し備えています。

・憧れの幼稚園の先生にアドバイスをもらったことを実習に活かしていきたいと思います。例えば、絵本の読み聞かせの時に感情を込めて読むことや、終日実習の時に、指導案通りに事が進まなくても、間違えたと思うのではなく、その場にあった対応を出来るように最悪の場合も考えておくことや、予定通りに出来なくても笑顔は大切にしておくことなどいろいろ教えてもらいました。このことを活かして実習に取り組みたいと思います。

・実習で色々な経験を積んで実際の現場でも役に立つような実習にしていきたいと思っています。

・実習のオリエンテーションに行きピアノの楽譜をもらい、実習が始まるという実感を抱き始めました。もちろん不安はありますが、やっと実習ができることが嬉しく毎日ピアノの練習や実習準備をしています。

・通っていた幼稚園の先生に憧れて、保育士を目指しました。大好きな幼稚園の先生は子どもに寄り添い、子どもの持つ力を引き出すような関わりをたくさんしてくださる先生でした。聖和に入学してから、たくさんの学びを得るなかでそのような保育者になりたいという思いが強くなり、実習ではそのような関わりが持てるように頑張りたいと思っています。一年生のときは友達に会って励まし合うことが当たり前だったのに、今はしばらく会えないのが残念ですが、実習を終え、パワーアップしたみんなに会うのがとても楽しみです。

・もうすぐ保育実習が始まります。私は1歳時を担当することになりました。まだ会話ができない子を見るので、ドキドキと楽しみでいっぱいです。保育園でアルバイトもしていて、乳児さんを見るのが多くあったので、アルバイトの経験も生かして子どもと接していきたいと思います。また、記録も大変だと聞くのですが、どんなことでもやり

切って頑張っていきます！子どもと接して新たなことや発見ができることも楽しみです！エネルギーに！がんばります！

- ・実習が今年は少なくなっているなのでその分1日1日が成長する時間とし、大切にしていき、保育士になった時に活かしていけるように吸収していきたいと思います。

- ・聖和の先生方は、実習に向けて、ピアノの楽譜や手遊び、実習に向けての制作物などの、アドバイスを頂けます。それが、施設実習でも、役に立ちました。これからの本実習でも役に立つものばかりです。自分のものにして基礎を固めていきます。

- ・春学期に実習がなくなってしまったため、このような状況の中、本当に実習ができるのか不安でした。しかし、夏休みに3日間、体験実習を挟み、秋学期には日数は減りましたが幼稚園、保育所ともに実習ができるようになって嬉しい限りです。このような状況の中で実習をさせていただける幼稚園、保育所、そして計画してくださった先生方に感謝して、4月からしっかりと保育者として現場に出て働けるように、実習では今の自分にできることを精一杯こなしていきたいと思います。

- ・実習まであと少しとなった今日この頃、私は自分の生活を見つめ直すことにしました。実習では早起きが基本で私の言動や表情が全て子どもたちに影響します。自分のしたことが子どもたちにとって良い影響になるよう日々生活していきたいと思います。

- ・私は実習に向けて様々な遊びや、製作の知識を増やそうと思います。10日間という短い期間ですが、その中で子どもたちが楽しい、またやりたいと思えるような新しい遊びなどを準備して、私自身も共に楽しみ、良い実習にしていきたいです。

- ・実習に向けて私は苦手なピアノの練習を沢山行いたいと思います。ピアノは実習のためだけでなく就職してからも使うため、ずっと苦手なまま避けては居られないので練習を積み重ねて行きたいです。

- ・私は実習に向けてピアノの練習に励んでいます。子どもたちや先生方の前で演奏することに期待し、実習までの残り二週間、継続して取り組みます。また手作り教材や手遊びなどのレパートリーを一つでも多くして、実習を向かえたいと考えています。